

分野	伸ばすところ	変えたいところ	今後、やるべきこと
自然環境 景観	豊かな自然 ・緑が多い。全市的に自然豊か ・海・里・山がある、自然豊か、地形が多用 ・自然豊かなところをアピールしたい 美しい景観 ・自然景観がすばらしい ・景観のすばらしさを発信する 西予ならではの多様性 ・市域が広い、多様性があるとおもしろい ・気候が温暖から寒冷まである ・海から山、暖から寒まであり、農水産物が自給自足できる。 ・特産品が沢山 ・「日本の縮図」を売り出す。 ・0m～1400m地帯まで、気候も様々 ・農産物、山、海でとれるものを広域に広げる(宇和島市等と連携)	耕作放棄地 ・耕作放棄地がふえた(空き家も) 多様性の弊害 ・面積が広すぎて効率が悪い。(距離、時間、コスト)	多様性を活かす ・0m→1400mの高低差を活かし、同じ品目を、四季を通じて栽培する ・PR活動の充実(自然、産物、観光) ・大野ヶ原を観光地化する ・景観計画を策定、自然を守る 住宅地景観魅力向上 ・庭木を統一していく ※統一すると地域の個性・魅力になる
土地利用 都市機能 都市施設	都市施設の活用 ・公園、遊園地で人を呼んだら	“まちなか”の魅力不足 ・宇和中心部に空き家が多い ・宇和の商店街がバラバラ ・明浜地区に喫茶店、カラオケ店が必要 雇用の場の不足 ・産業・企業の後継者が定住できるような条件整備 ・働く場所がほしい。(松山、大洲等への人の流出) 余剰な公共施設 ・合併で生じた、類似施設をどうするか。管理者が見当たらない。 ※「初期の目的は達成した」という言い方ができるのでは。	“まちなか”の魅力づくり ・明浜地域に喫茶店／カラオケ店／飲み屋をつくる ・I C付近等農振地域の見直し ※市への権限の移譲 ・宇和・6つの商店街を統合し、連携して動けるようにする。 雇用の創出・産業振興 ・企業が人を雇うことのできる補助金等 ※制度的には充実している。人材が必要 ・市主導による漁協・農協の統合
公共交通 道路		不便な公共交通 ・公共交通(宇和島バス)の費用が高い ・高齢者はバスに乗りにくい(ノンステップバスが必要) ・自家用車でないと移動できない ・交通が不便、移動に時間がかかる。 インフラ(道路)整備の充実 ・高速道路の無料化 ・松山方面、まずは大洲まで ※良し悪しだが、企業誘致を考えるなら無料化 ・県道日向谷高野線がせまい(城川) ・大野ヶ原の県道が狭い ・地形が急峻、インフラ整備(道路改良)に費用がかかる	公共交通利用促進 ・公共交通の充実(価格／市の支援／利用促進) ・ノンステップバスの導入 ・高校生の通学利用を促進 (新たな)道路交通体系の充実 ・高速道路無料化(低価格化) ・自動運転の推進(道路の必要な機器を埋める等。検討したい) ・海産物の品質を保持した運送方法検討 ・インフラ維持、整備
防災 安全安心	地域防災体制の充実 ・防災訓練が良くできている。(特に明浜地域の俵津地区) ※三瓶地域も盛ん ・田舎ほど、隣の人との連携がとれている(防災上、有利になる)	地形に起因する災害リスク ・危険箇所が多い(津波、浸水、土砂) ・土砂災害危険箇所が多い	災害リスクの低減 ・災害対策／防災工事(継続)
健康・福祉 コミュニティ 学校	盛んな行事・イベント(コミュニティ) ・三瓶・明浜では、秋の感謝祭等、祭りが盛ん ※多くの地域では後継者が減ってきた。 ・全国規模のイベント(乙亥すもう、朝霧マラソン)	健康づくり ・優秀な医者誘致等病院の充実が必要(宇和島病院に行く人が多い)。 ・温浴施設の充実とその活用法 学校施設の充実 ・3校の高校の将来を憂う(市外の高校への進学が多い) ・旧学校、幼稚園跡地の活用 ・高校等ですでに他市へ行ってしまう。(学校の魅力向上) 多様性の弊害(コミュニティ) ・市域が広く、考え方が違う	学校の活性化・施設活用 ・旧学校の活用(明浜はほぼ解消、施設を活用中) ・3校の高校の校長、PTA会長が今後の対策を話し合う 行事・イベントの活性化 ・祭を盛大に、人を呼ぶ ・各地の祭で旅行会社とのタイアップ、観光客を呼び込む(地域にお金落ちる仕組みを考える)
その他	温かな風土 ・向こう三軒隣りの親近感 ・のんびりしている	人口減少・過疎化 ・全市的に、とにかく人が少ない(働き手がいらない) ・古い習慣(しきたり)が多い ・役が多い。同じ人に集まってしまう。(不要な役等は廃止したい)	人口の確保 ・一人でも人口の維持を ・都市部に出た西予市出身者同士の出会いの場づくり(婚活) ※男女ともに西予出身であれば、Uターンの可能性が高い。

■グループワーク結果B班（主に都市計画区域内のメンバー）

分野	伸ばすところ	変えたいところ	今後、やるべきこと
自然環境 景観	自然・景観 ・気候が良い(温暖) ・自然が豊か ・お散歩するところがある。 (親水←もう少しきれいにしてほしい。) ・野村の四国カルスト (日本じゃないようなダイナミックな景色と風景。すごく価値があると思う。)	景観計画 ・景観計画のツメが甘い。 例) 自然がキレイな運動公園に突然人工的な法面	自然を活かした景観形成 ・自然が豊かできちんと(ありのままではない)(上手く)整備された空間(公園、道路、公共施設) ・機能面も兼ねた美しい景観 自然・風景を活かしたまち
土地利用 都市機能 都市施設	歴史・文化の維持・活用 ・重伝建地区(卯之町) 電柱電線が無くて良い(歩く時幸せ)	集う・暮らしの空間が少ない ・美術館、映画館等文化的な施設が少ない ・商業施設が少ない ・くつろぐ場所がない 空き家の増加 ・空き家が多い 活用されていない ・空き家情報知りたくてもよくわからない	空き家の情報提供 ・空き家情報の提供 ・価値のある物件は、きちんと残しながら“自分らしく住める”リノベーション可の物件が知りたい。 空き家の有効活用 ・空き家を企業の社宅として活用する ・空き家民泊として活用 みんなが集える場所の整備 ・駅前にお茶が飲めてまちの情報を調べられるコミュニティスペースが欲しい。(西予市産のお茶提供カフェ) ・西予市産、地域のものを集めたお店(商社)が欲しい。どんぶり館とは違う考え方デザインコンセプトがきちんとしたお店 みんなが集い・暮らしやすいまち
公共交通 道路	道路の整備 ・道路の整備はよくなっている (俵津バイパス等)	交通渋滞 ・交通混雑がある 不便な公共交通 ・公共交通が不便	道路の整備 ・国道378号の2車線改良(西予土木) 使いやすい公共交通にする ・公共交通を市民が積極的に使う (市民の役割) ・公共交通を使いやすくする (事業者・行政の役割) 道路混雑の解消 ・高速道路の無料化 各地域にどこでも行き来ができ一体感のあるまち
防災 安全安心	災害が少な安全まち ・災害が少なく、住みやすい	空き家の倒壊危険性 ・老朽化した空き家が倒壊する恐れがあり危険 津波による危険性 ・津波が心配	空き家の除却補助 ・危険な空き家の除却の補助 津波から命を守る ・避難路の整備 安全、安心なまち
健康・福祉 コミュニティ 学校	よい人 ・やさしい人が多い ・人が素直 よい人を育む教育 ・教育や文化に力を入れているところ。 (子供たち(学生含む)は地域の宝 地域のお祭り・文化 ・明浜のお祭り。(伝統的なものが今でも無理なく残っている) ・文化会館は様々なイベントを行って頑張っている	医療施設の不足 ・明浜は診療所が少なくなり、高齢者にとって、とても不便になっている ・市民病院のことよくわからない。悪いイメージがある	教育の充実 ・私塾の充実 ・子供が戻ってこれる教育 ・地域に誇りをもち、将来ふるさとに帰れるまちづくり 医療施設の充実 ・病院、診療所の整備 ふるさどが感じられるまち
その他	豊富な食材 ・食べ物がおいしい ・海、里、山の食べ物たくさんある ・数は少ないけれどおいしいお店がちゃんとある 留学生 ・地区外から農業のために色んな人が入ってきて交流があり、まちが元気になっている(海外からの農業留学生)	人口減少 ・人口が減少している。 若者の流出 ・若者の流出(市外の高校へ)	若者の移住促進 ・食べるものおいしいので、他地区から色んな人を呼びこんで若い人が来ることで、交流ができ、カップルができるといい ・若者を呼び込むイベントの開催(婚活等) ・仕事ができる場を作る 稼げる一次産業にする ・第一次産業に従事していながらきちんと食べていける ・西予市の特産品を100%使った、ジオレストランをつくる 食を活かした産業が盛んなまち 若者が住みやすいまち